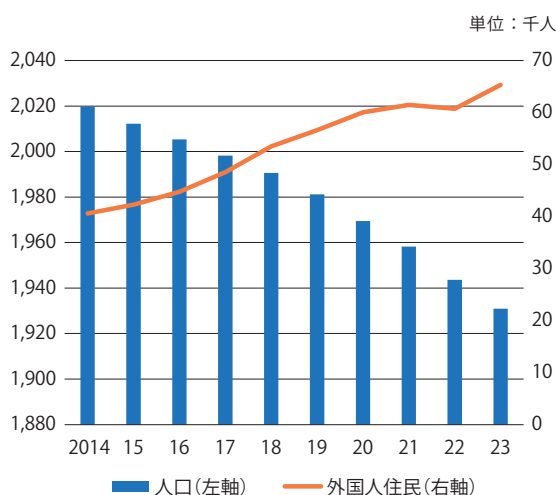


人口に占める外国人の割合は全国3位

- 総務省の住民基本台帳に基づく調査によれば、群馬県の人口は減少を続けており、2023年1月1日現在、193万976人となっている。一方、外国人住民（以下、外国人）の数は増加傾向をたどり、6万5326人となっている（図表1）。外国人の数は全国12位であるが、人口に占める外国人の割合は3.38%で、東京、愛知に次いで全国3位となっている（図表2）。
- 県内外国人の数を市町村別にみると、最も多いのは「伊勢崎市」で1万4045人、次いで「太田市」が1万2091人、「大泉町」が8215人となっており、いずれも前年に比べ増加している（図表3）。また、上位3市町村の総人口に占める外国人の割合は、それぞれ6.6%、5.4%、19.7%となっている。
- 県内外国人はコロナ禍により減少していたが、今年は再び増加に転じた。今後、日本人が減少していく予測の中で、外国人は経済や社会生活を支える存在になると考えられる。「伊勢崎市」「太田市」「大泉町」などは、いずれも多くの工場が立地しており、外国人は地域のものづくりを担う大きな役割を果たしていると考えられる。

図表1 群馬県の人口と外国人住民の推移



資料：総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯調査」

図表2 都道府県別外国人住民数

| 順位 | 都道府県名 | 外国人住民数 | 対前年増加率 | 人口に占める外国人の割合 | 順位 |
|------|-------|-----------|--------|--------------|----|
| 1 | 東京 | 581,112 | 12.2 | 4.2 | 1 |
| 2 | 愛知 | 278,116 | 7.5 | 3.7 | 2 |
| 3 | 大阪 | 267,918 | 10.3 | 3.0 | 6 |
| (中略) | | | | | |
| 12 | 群馬 | 65,326 | 7.5 | 3.38 | 3 |
| (中略) | | | | | |
| 45 | 高知 | 5,195 | 18.3 | 0.8 | 44 |
| 46 | 鳥取 | 4,971 | 10.8 | 0.9 | 35 |
| 47 | 秋田 | 4,512 | 12.5 | 0.5 | 47 |
| 全国計 | | 2,993,839 | 10.7 | 2.4 | |

資料：総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯調査」
2023年1月1日現在

図表3 県内市町村別外国人住民数(上位5市町村)

| 順位 | 市町村名 | 外国人住民数 | 対前年増加率 | 人口に占める外国人の割合 |
|----|------|--------|--------|--------------|
| 1 | 伊勢崎市 | 14,045 | 4.8 | 6.6 |
| 2 | 太田市 | 12,091 | 4.1 | 5.4 |
| 3 | 大泉町 | 8,215 | 4.9 | 19.7 |
| 4 | 前橋市 | 7,612 | 6.6 | 2.3 |
| 5 | 高崎市 | 6,252 | 8.4 | 1.7 |

資料：総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯調査」
2023年1月1日現在

【一口メモ】

- 本資料は、基準年の1月1日現在の住民票に記載されている者の数（住民基本台帳人口）を総務省がとりまとめたものである。
- 日本の人口は減少傾向にあるが、国立社会保障・人口問題研究所（厚生労働省の施設等機関）が行った20年の国勢調査を基礎にした将来人口推計によれば、日本の人口は50年後の70年に現在の7割にあたる8700万人に減少する見込みである。

(担当：主任研究員 半田浩己)